各　　位

2013年４月１日

会 社 名　日本ケミカルリサーチ株式会社
代表者名　取締役会長兼社長　　芦田　信
（東証・大証各２部　コード番号4552）
問合せ先　管理本部　総務部長　三浦　祐一
（ＴＥＬ　0797-32-8591）

国際戦略総合特区の計画事業認定のお知らせ

当社は、この度、関西イノベーション国際戦略総合特区の計画事業として認定されましたので、お知らせいたします。

当社は、2009年のグラクソ・スミスクライングループ（GSK）との提携以降、ライソゾーム病分野において酵素との組み合わせが可能な様々な技術について検討を重ね、本年２月には、その第１弾としてファブリー病治療酵素（開発番号：JR-051）と米国・アミカス社（Amicus）の低分子シャペロン技術を組み合わせた配合剤開発に関する協業をGSKとの間でスタートさせました。今般、こうした研究開発における取り組みが国際戦略事業としての評価を受け、関西イノベーション国際戦略総合特区(注)の計画事業として認定されました。

ライソゾーム病の中には既に治療薬が存在しているものもありますが、中枢神経系症状への作用、組織・臓器への移行性などの面における改善課題が残されております。当社では、治療を受けられる方々のQOLの大幅な向上を目的として、治療酵素への血液脳関門通過技術および組織ターゲティング技術の応用、ならびに低分子シャペロン技術との組み合わせなどによる新薬の研究開発に取り組んでおります。これらの技術は様々な医薬品への応用の可能性があることから、早期の実現に注力することより世界の様々な医薬品市場の獲得を目指します。今後も独自のバイオ技術を生かし、希少疾病治療薬の開発に取り組むスペシャリティファーマとして、より多くの患者様の治療に貢献できるように取り組んでまいります。

(注) 関西イノベーション国際戦略総合特区は、総合特別区域法に基づき、関西の６自治体（京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市および神戸市）が一体となり、ライフサイエンス分野および新エネルギー分野における規制緩和、税制・財政・金融上の支援措置を通して国際競争力の向上を推進する制度です。

・神戸市ホームページ
http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2013/03/20130329141002.html

以上